

OS と Starter Pack の対応 (NX7700x/A5010E-2 v2 向け)

※注) 本書の適用範囲はモデル名末尾に **v2 が付いている製品**です。
v2 以外の製品(v 表記無し)は適用対象外です。

○ A5010E-2 v2 モデル ✕ A5010E-2 モデル

対象モデル名	対象型番
A5010E-2 v2※	NE3300-233Y/234Y
A5010E-2 v2 LOM セットモデル※	NE3300-235Y/236Y
A5010E-2 v2 LOM セレクタブルモデル※	NE3300-237Y/238Y

※本書は iLO5 のファームウェアバージョン 2.72 以降が対象です。

バージョン 2.72 未満は旧版の「[OS と Starter Pack の対応\(NX7700x/A5010E-2 v2 向け\)](#)」を参照してください。

iLO5 のファームウェアバージョンの調べ方は、本書末尾の「(参考) [iLO5 のファームウェアバージョン確認方法](#)」を参照してください。

OS と Starter Pack について

NX7700x/A5010E-2 v2 (以下「サーバ」)は、Starter Pack のバージョンによってサポート可能な OS が変わります。今後、Starter Pack のリリースに伴い、本書も更新いたしますので、リリースサーバーの安定稼動のため、本書および関連資料に記載する手順に従い、使用する OS に対応した最新の Starter Pack を適用してください。

OS インストール準備および Starter Pack の適用

OS インストール準備

1. 「[1 OS と Starter Pack 対応表](#)」
インストールする OS に適合する Starter Pack バージョンを確認します。
2. 「[2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認](#)」
サーバに適用する Starter Pack バージョンを確認します。
工場出荷時に初めて OS をインストールする場合とそれ以外の場合(使用 OS を変更する)で手順が異なります。

Starter Pack の適用

3. 「[3 Starter Pack 同梱のファームウェアおよび EXPRESS BUILDER の適用](#)」
手順 2 で確認したバージョンの Starter Pack を使用してファームウェアおよび EXPRESS BUILDER を適用します。
ただし、既にインストールする OS に適合する Starter Pack バージョンが適用されていれば、適用は不要です。手順 4 に進んでください。
4. 「[4 OS のインストールおよび Starter Pack\(ドライバー、バンドルソフトウェア\)の適用](#)」
OS の種別(Red Hat Enterprise Linux / VMware ESXi/Windows Server/)毎に手順が異なります。
インストールする OS に合わせて手順を参照してください。

1 OS と Starter Pack 対応表

Starter Pack のバージョンによって、サポート可能な OS が変わります。
下記の表から、利用 OS に対応した Starter Pack を確認してください。

対応 OS		Starter Pack バージョン												
		S8.80 -001.08	S8.80 -001.09	S8.80 -002.01	S8.80 -002.02	S8.80 -003.01	S8.80 -003.02	S8.80 -004.01	S8.80 -005.01	S8.80 -005.03	S8.80 -005.05	S8.80 -005.08	S8.80 -005.09	S8.80 -005.10
Red Hat Enterprise Linux	7.6	✓*1	✓*1	✓*1	✓									
	7.7			✓*1	✓	✓	✓							
	7.9									✓				
	8.2					✓	✓	✓						
	8.4								✓	✓				
	8.6											✓	✓	
VMware ESXi	6.5 update 3		✓*1	✓*1	✓	✓	✓	✓	✓	✓				
	6.7 update 2	✓*1	✓*1	✓*1	✓	✓	✓							
	6.7 update 3		✓*1	✓*1	✓	✓	✓	✓	✓	✓				
	7.0				✓	✓	✓							
	7.0 update 1					✓	✓	✓						
	7.0 update 2					✓	✓	✓	✓	✓				
	7.0 update 3								✓	✓	✓	✓	✓	✓
	8.0										✓	✓		
	8.0 update 1											✓	✓	
	8.0 update 2												✓	✓
Windows Server	2019						✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

*1 これらの Starter Pack バージョンは工場出荷時に適用されている場合は、対象 OS を使用する事が可能ですが、
「2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認」にてサーバに適用する Starter Pack バージョンとして選択することはできません。
S8.80-002.02 以降を選択してください。

補足事項

- サーバ(N 型番)および Starter Pack 製品(UL 型番)は、ご注文時の最新バージョンの Starter Pack、EXPRESSBUILDER が適用、収録され出荷されます。過去のバージョンの Starter Pack は、NEC Web サイトよりダウンロードしてください。
サーバの保証期間内および保守契約期間であれば無償でダウンロードできます。
ダウンロード先:https://jpn.nec.com/nx7700x/support/patch_a5010e.html
- 搭載する CPU によって適用可能な Starter Pack が異なります。CPU の型番が、NE3301-1519A など末尾が A または B であれば、Starter Pack S8.80-001.08 以降、NE3301-1723C など末尾が C または D であれば、Starter Pack S8.80-002.02 以降を適用してください。

2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認

サーバに適用する Starter Pack バージョンを確認します。工場出荷時に初めて OS をインストールする場合とそれ以外(使用 OS を変更する)で手順が異なります。

- 工場出荷後に初めて OS をインストールする場合は、A.1 に進みます。
- それ以外の場合(使用 OS を変更する)は、B.1 に進みます。

A.1 別紙「本体装置出荷時に適用された Starter Pack バージョンの判別方法」を参照して、本体装置出荷時に適用されている各種ファームウェアバージョンから Starter Pack バージョンを判別してください。

尚、複数の Starter Pack バージョンに一致する場合があります。その場合は、一致する複数の Starter Pack バージョンに適合していることになります。

別紙掲載 URL:

<https://jpn.nec.com/nx7700x/support/manual/a5010e.html>

A.2 手順 A.1 で確認したバージョンと手順 1「**1 OS と Starter Pack 対応表**」で確認したバージョンの内 OS に適合する最新のバージョンがサーバに適用する Starter Pack バージョンです。

例 1(手順 A.1 と手順 1 でバージョンが一致する場合):利用 OS が RHEL8.4 の場合

- 手順 1 で OS に適合する Starter Pack バージョンは S8.80-005.01 と S8.80-005.03 であることが確認できます。
- 手順 A.1 の本体装置出荷時に適用されている Starter Pack バージョンは、S8.80-005.01 と S8.80-005.03 が該当したものとします。
- この場合、サーバに適用する Starter Pack バージョンは、S8.80-005.03 になります。

例 2(手順 A.1 と手順 1 でバージョンが一致しない場合):利用 OS が RHEL7.6 の場合

- 手順 1 で OS に適合する Starter Pack バージョンは S8.80-002.02 であることが確認できます。
- 手順 A.1 の本体装置出荷時に適用されている Starter Pack バージョンは、S8.80-005.05 が該当したものとします。
- この場合、本体装置出荷時に適用されているバージョンは OS に適合していないため、サーバに適用する Starter Pack バージョンは、OS に適合する最新のバージョンの S8.80-002.02 になります。

B.1 手順 1「**1 OS と Starter Pack 対応表**」で確認したバージョンの内 OS がサポートする最新のバージョンがサーバに適用する Starter Pack バージョンです。

例:利用 OS が RHEL8.4 の場合

- 手順 1 で OS に適合する Starter Pack バージョンは S8.80-005.01 と S8.80-005.03 であることが確認できます。
- この場合、サーバに適用する Starter Pack バージョンは、S8.80-005.03 になります。

3 Starter Pack 同梱のファームウェアおよび EXPRESS BUILDER の適用

既にインストールする OS に適合する Starter Pack バージョンが適用されていれば、適用は不要です。
手順 4「**4 OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用**」に進んでください。

それ以外は、手順 2「**2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認**」で確認した Starter Pack を使用してファームウェアおよび EXPRESS BUILDER を適用します。

Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って適用してください。

Starter Pack 掲載 URL: https://jpn.nec.com/nx7700x/support/patch_a5010e.html

4 OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用

OS の種別毎に手順が異なります。インストールする OS に合わせて手順を参照してください。

OS に対応する説明書は、「OS と説明書の対応表」を参照してください。

- Red Hat Enterprise Linux の場合は、インストールガイド(Linux 編)と Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用をしてください。
- VMware ESXi の場合は、仮想化環境準備項目一覧と Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用をしてください。
- Windows Server の場合は、Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用をしてください。

OS と説明書の対応表

対象 OS	バージョン	説明書		
		インストールガイド (Linux 編)	仮想化環境準備項目一覧	インストールガイド (Windows 編)
Red Hat Enterprise Linux	7.6	✓	✓	
	7.7	✓	✓	
	7.9	✓	✓	
	8.2	✓	✓	
	8.4	✓	✓	
	8.6	✓	✓	
VMware ESXi	6.5 update 3	✓	✓	
	6.7 update 2	✓	✓	
	6.7 update 3	✓	✓	
	7.0	✓	✓	
	7.0 update 1	✓	✓	
	7.0 update 2	✓	✓	
	7.0 update 3	✓	✓	
	8.0	✓	✓	
	8.0 update 1	✓	✓	
	8.0 update 2	✓	✓	
Windows Server	2019	✓		✓

各説明書は下記より入手してください。

- インストールガイド(Linux 編) <https://jpn.nec.com/nx7700x/support/manual/a5010e.html>
- 仮想化環境準備項目一覧 <https://jpn.nec.com/nx7700x/support>
- インストールガイド(Windows 編) ※ <https://jpn.nec.com/nx7700x/support/manual/a5010e.html>

※掲載の「インストールガイド(Windows 編)」は、Starter Pack Version S8.80-003.02 に準じたインストール手順です。Starter Pack Version S8.80-004.01 以降 を使用する場合は、使用する Starter Pack のダウンロードサイトに掲載している「インストールガイド(Windows Server 20xx 編)」を参照してください。

(参考) iLO5 のファームウェアバージョン確認方法

iLO5 のファームウェアバージョンを確認する方法は下記 2 通りあります。どちらか一方を実施します。

- **サーバのローカルコンソールで確認する方法**

1. サーバの電源が ON の場合は、シャットダウンして電源を OFF にします。
2. サーバにディスプレイとキーボードを接続します。
3. サーバの電源を ON にします。POST 画面が表示されますので、キーボードの<F9>キーを押します。
4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Utilities : System Information → Firmware Information」を選択します。
5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「iLO Firmware」 → iLO5 のファームウェアバージョン
6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了します。
注) システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイドの「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照します。

- **iLO Web インターフェースを利用して、リモートから確認する方法**

1. iLO5 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備します。
2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェースに接続し、ログインします。
3. 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。
4. iLO Web インターフェース画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「iLO 5」 → iLO5 のファームウェアバージョン
5. Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェース画面を閉じます。
注) iLO Web インターフェースの操作方法は、iLO5 ユーザーズガイドを参照します。

(参考) 監視・管理サーバのソフトウェアバージョン

本モデルを他の管理 PC(サーバでも代替可)で管理する場合、管理 PC の管理ソフトウェアが本モデルを管理できるバージョンか(本モデルを管理対象としてサポートしているか)確認してください。ESMPRO/ServerManager を利用する場合、管理 PC の ESMPRO/ServerManager をアップデートしなければならない場合があります。下記の Web サイトから最新版をダウンロードし、インストールしてください。

ESMPRO/ServerManager ダウンロード

<http://jpn.nec.com/esmsm/download.html>

⇒ESMPRO/ServerManager Ver.7(Windows)

⇒ESMPRO/ServerManager Ver.6(Windows)